

明るい曲が悲しく聞こえるワケ

2 年 音響芸術科 對馬愛佳

1. 研究動機

嵐の「Happiness」という曲について、

数年前にふとアップテンポで明るい曲なのにどこか悲しく聴こえるようになった。一回そう感じるようになってからはテレビやライブで観てもそう思う気持ちは変わらなかった。曲全体が悲しく聞こえるワケではなく部分的にそう聴こえる。一緒にライブに行く母に聴いてもそんな風には聴こえないと言われなぜ自分は悲しく聴こえるのか知りたいと思ったから。ポップスアナリーゼの授業内でも一回の授業で一曲について様々な視点から解説しており、この授業のように分析し、自分の言葉で説明したいと思ったから。

音楽的な知識がないので譜面から読み取れることだけでなく、作詞家作曲家、ライブ演出など外的なものが絡んでいるかに焦点を当てて考えた。

2. 予想

ライブのセトリで最後のほうに歌われることが多いとしたら感動的だったり、もうライブが終わってしまうという寂しさからくる悲しさから連動する感情なのではないか。

3. 調査方法

インターネット、ライブ DVD、Youtube

4. 調査結果

「Happiness」

嵐、20 枚目のシングル曲

メンバー二宮和也、櫻井翔が主演を務めた、TBS 系 金曜ドラマ「山田太郎ものがたり」主題歌

発売日 2007 年 09 月 05 日

作詞：Wonderland

作曲：岡田 実音

編曲：北川 吟

【作詞家・作曲家・編曲家】

・Wonderland

ビーエスエム株式会社に所属する、北川暁や北川吟を中心とした所属クリエイターによるプロジェクトチーム。

他にも「マイガール」「Step and Go」の作詞もした。

当時のビーエスエムの他の所属として、

100+ (ハンドレットプラス) → 「愛を叫べ」 (作詞・作曲・編曲) 「Believe」 (作詞・作曲) など。

youth case → 「Love so sweet」 (作曲) 「One Love」 (作詞) など。

HYDRANT → 「truth」 (作詞・作曲) など。

彼らは嵐ファンなら一度は名前を見たことがあるくらい嵐の楽曲制作をしている。

2021 年現在は youth case (百瀬悠介、加古祐介) が 2014 年に立ち上げたクリエイターのマネジメントなどを手掛ける株式会社 KIMONO に所属している。

・岡田実音

作詞、作曲、ボイストレーナー。

・北川吟

2007~08 年の嵐の編曲を手掛ける。「ファイトソング」「Oh Yeah!」など。

現在は北川暁と Amadeus Code という企業で AI による自動作曲アプリを軸に音楽制作サービス事業をしている。

→ 曲によってコンセプトや曲調が違うので作詞作曲編曲をしている人たちの特徴が関係しているとは考えにくい。

【PV について】

白を基調とした一軒家の中や庭で様々なおもちゃなどを使って自由に遊んだりしゃいでいる。五人の素のような映像でわちゃわちゃしている。

→ 悲しさ、寂しさを連想させるシーンはなかった。

【セットリスト】

Happiness が発売されてからセットリストに選ばれているライブ

2007 年 SUMMER TOUR 2007 FINAL Time -コトバノチカラ- 28 曲目(36 曲中)
2008 年 ARASHI AROUND ASIA 2008 in TOKYO 6 曲目(39 曲中)
2009 年 ARASHI Anniversary Tour 5×10 28 曲目メドレー中(29 曲中)
2010 年 ARASHI 10-11 TOUR "Scene"～君と僕の見ている風景～ STADIUM 5 曲目(44 曲中)
2011 年 ARASHI 10-11 TOUR "Scene"～君と僕の見ている風景～ DOME+ 35 曲目(40 曲中)
2011 年 ARASHI LIVE TOUR Beautiful World 20 曲(42 曲中)
2012 年 ARASHI アラフェス NATIONAL STADIUM 2012 1 曲目(42 曲中)
2012 年 ARASHI LIVE TOUR Popcorn 35 曲(35 曲中)
2013 年 ARASHI アラフェス'13 NATIONAL STADIUM 2013 5 曲目(41 曲中)
2013 年 ARASHI Live Tour 2013 "LOVE" 33 曲目(35 曲中)
2014 年 ARASHI BLAST in Hawaii 11 曲目(30 曲中)
2014 年 ARASHI LIVE TOUR 2014 THE DIGITALIAN 29 曲目(36 曲中)
2015 年 ARASHI BLAST in Miyagi 4 曲目(33 曲中)
2015 年 ARASHI LIVE TOUR 2015 Japonism 12 曲目(32 曲中)
2016 年 ARASHI LIVE TOUR 2016-2017 Are You Happy? 25 曲目メドレー中(29 曲中)
2017 年 ARASHI LIVE TOUR 2017-2018 「untitled」 6 曲目(30 曲中)
2018 年 ARASHI Anniversary Tour 5×20 42 曲目(42 曲中)
2020 年 ARASHI アラフェス 2020 at NATIONAL STADIUM 25 曲目(41 曲中)
2020 年 This is 嵐 LIVE 2020.12.31 25 曲目(28 曲中)

全 19 ライブ中、4 回がラスト 5 曲の中、2 回がトリだった。

→決して毎回終盤に歌われているわけではないが、トリになっているライブもある。アップテンポな曲なので最初に歌われることが多いと思っていたので意外だった。

【ライブ演出】

2012 年 ARASHI LIVE TOUR Popcorn より、
嵐のライブは本編が終わり、アンコールで再登場し一人ずつ感想を述べエンディングに向かう流れであるが、このライブの本当の一番最後の曲で「Happiness」が終わり再びインストゥルメンタルの曲が流れハケていく。インストだとリズムが直接聴こえてくるのでライブが終わる悲しさとリズムの切なさにより、ますます悲しさが伝わってくると感じた。

【音楽的面】

・メロディについて

また、2017 年の「untitled」のライブ DVD の disc3 に収録されていた『嵐の嵐会』という、5 人がこのライブ DVD を観返す映像の中で、ニノが進行がピアノだから切なく聴こえると言っていた。

Marasy8(まらしい) Happiness

<https://youtu.be/HBWW1X22AQ8>

ピアノで演奏した動画を調べて聴いた結果、原曲よりも悲しさ、切なさが伝わる様に感じた。

まらしぃが弾く Happiness の採譜動画

[【まらしぃ】「Happiness」 / 嵐 【採譜】\(marasy piano sheet\)](#)

→素人ながら叩く鍵盤の流れが全体的に高い音から低い音へとなっていると感じた。サビも高くなるころまでは高くなるが、最初の音より低いところまで落ちるなと感じた。

(例：走りだせ 走りだせ 明日を迎えに行こう)

また、イントロやAメロで下ハモがあることも理由になるのでは？と感じた。

(例：夢中で生きてたらー)

・歌詞について

1B メロ：思い出の後先を考えたら寂しすぎるね

→歌詞の中に「寂しい」というワードが入っている。

2A メロ：涙の気持ちさえ言葉にできない

→悲しさを連想させる歌詞

5. まとめ

今回、「Happiness」について様々な面から分析してみたが、作詞家・作曲家・編曲家やPVの構成から悲しさや切なさへ繋がるものはなかった。

だが、ライブのトリで歌われたり、その後にインストで流れたりする演出が個人的に相乗効果を生むように感じた。リズムは譜面に波が生まれることから繋がっているのではないかな。歌詞も割と応援ソング的な歌詞なのでそこまで関連しているとは感じなかった。

作詞家・作曲家・編曲家について、アーティストのように事務所に所属していることを知れた。

6. 今後について

他にも、「Trouble maker」も同じように明るくアップテンポな曲なのに部分的に切なく感じるところがあるので今度はより詳しく楽譜の説明もできるくらい研究を深めていけたらと感じた。

7. 出典

Wonderland について

<https://ja.wikipedia.org/wiki/Wonderland>

ARASHI Happiness について

<https://www.j-storm.co.jp/arashi/discography/happiness>

北川吟 嵐の編曲について

http://www.neyan.net/cgi_db/database.cgi?cmd=s&S_4_Key_ArrS=%96k%90%EC%8B%E1&Type_4=Normal-&TrColor=%23ffffff%2C%23e8ffe8&Sort=Key_Fdate&Reverse=1&Sort2=Key_Title&Reverse2=1

100+、you case について

https://utapedia.net/songwriter39_youth_case.html

株式会社 KIMONO

<https://kmn.tokyo/>

嵐 セットリスト

<http://setlist-live.com/arashi/3229.html>